

音のない言葉

ほら

きこえるでしょう

ささやくような

突風のような

津波のような 空気の流れ

あれは ほら

音のない言葉の流れる音です

言葉になり切れなかった

無数の人びとの

無数の想いが

言葉になれる温度を求めて

さまよい 流れていくのです

(一九五四・九)